

ロボットビジネス創出拠点形成事業

施策のポイント

大阪の強みを活かし、企業によるロボットビジネス創出を促進するプログラムを実施するとともに、将来の大阪駅北地区における拠点形成に向け、パートナー機関の発掘・提携に関する調査や求心力強化につながる国際ネットワークの形成を図る。

自治体情報

大阪府 大阪市

人口 / 2,663,033人 標準財政規模 / 725,933,427千円

担当課 経済局総務部企画担当

電話番号 直通 06-6208-8935

実施主体 大阪市

関連ホームページ

事業期間 平成 22 年度から

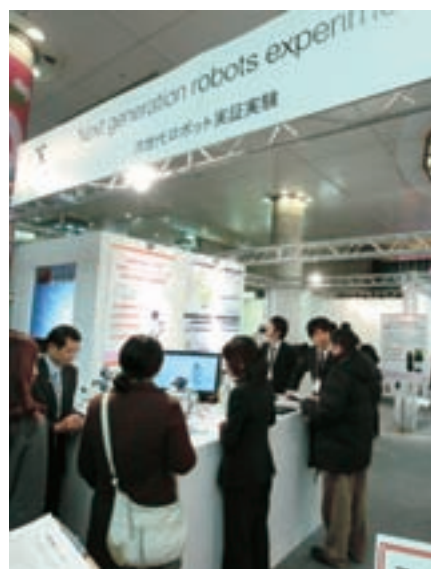
参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

- ・人口減少や高齢化進展といった課題に直面しつつある中で、社会からはロボットテクノロジー（RT）による課題解決への期待が高まっており、今後、RT を活用したビジネスの市場拡大も見込まれている。
- ・大阪・関西には、高度な研究活動を推進する大学・研究機関や要素技術として欠かせないセンサーなどの高度な技術を持つものづくり企業が多く集積しており、本市では地域の強みを活かすことのできる分野として「ロボットテクノロジー」を位置づけ、ベンチャー企業の創出・育成や既存企業の新規参入を促進し、次世代ロボット産業の創出を目指した取り組みを進めている。



2 取り組みの具体的内容

- ・大阪圏の企業や研究機関等の強みを活かして、今後の成長が期待できる「重点テーマ」を設定し、セミナー・展示商談会等のビジネスイベント、産学・産産連携コンソーシアム形成につながる各種研究会、製品開発の過程で必要な実証実験の支援、ビジネス創出人材の育成や個別プロジェクト案件のフォロー活動等の集中的な支援を通じて、ロボットビジネスへの企業の参入や新規事業開発を促進する。



3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・次世代 RT 分野での事業化プロジェクト数：8 件（22 年度）
- ・ロボットビジネス創出拠点における事業提携等に関する合意：1 件（22～23 年度）
- ・海外の関係機関との事業提携等に関する合意：2 件（22～23 年度）

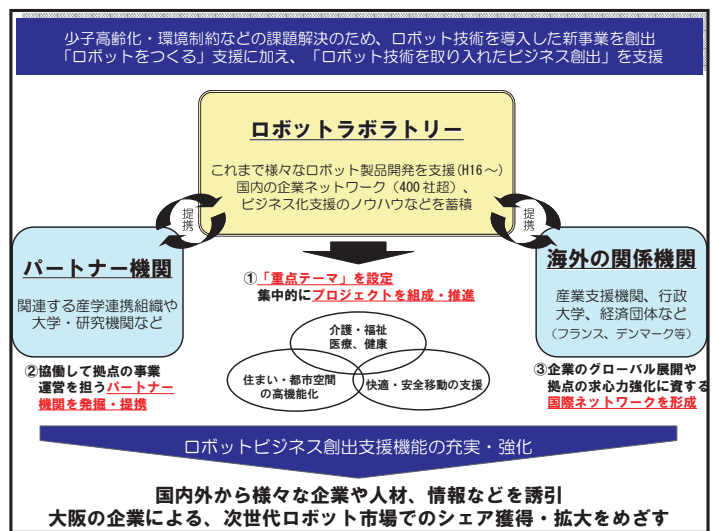
4 現在までの実績・成果

- ・平成 14 年度にロボット産業振興の基本指針となる「次世代 RT 産業創出構想」を策定、ロボット産業の先進都市としてのイメージ確立に向けた活動を推進
- ・平成 16 年度に次世代ロボット開発企業ネットワーク「RooBO」が設立されるとともに、「ロボットラボラトリー」を開設しビジネス支援活動を開始
- ・以降の活動を通じて企業ネットワークの厚みが増し、ベンチャーの企業やロボット製品開発事例が多く生まれるなど、支援企業の売上向上に貢献するとともに新製品開発に不可欠な研究開発の資金調達に向けた公的制度の活用支援により、多くの資金獲得につなげている

5 今後の展開と課題

パートナー機関の発掘・提携を実現し、ロボットビジネス創出拠点の事業運営体制を構築することにより、相互に協力・連携や補完しあいながら、効率的・効果的な運営の実現をめざす。

また、これまでの活動を通じて構築してきた国内ネットワーク（RooBO 会員：400 超）に加え、海外の RT 関連機関等との国際ネットワークを形成することにより、ロボットビジネス創出拠点の求心力強化につなげ、国内外から様々な企業や人材、情報などを誘引することが必要である。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
13,000千円		0千円	0千円	0千円	0千円	13,000千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					